

生徒指導部通信

令和5年度第1号
令和5年5月2日
文責 林 宏幸

■ 生徒指導部メンバー

- ・3学年 福田 博之、土屋 葉月
- ・2学年 林 宏幸（部長）、後藤 理紗
- ・1学年 佐藤実和子、長谷川 楓

◇遅くなりましたが、以上の6名で今年度指導していきます。また、生徒指導部通信は2ヶ月に1度程度、発行していきます。

『様々なことを“自分ごと”として捉え、自分の行動を振り返り改善できること』を目的としています。

■ 自ら行動すること

4月25日（火）の全校集会で「指示なし礼」の練習をしました。これは、周りに言われなくとも“自分の判断で動く”一つの例です。授業や部活動など様々な場面で、自ら考えて取り組む「主体性」の大切さが言われています。でも、この「主体性」というものは、段々と身に着けていくものだと考えています。初めのうちは、方法や意味を指示・説明されてから動いていたはずで、それが同じような場面でも指示されずに動けるようになる。そしてさらに、違う場面（例えば、目上の人近くに来たら）で、自分で「立ち止まって挨拶した方がいい」と考えて、挨拶をする。このように段階を踏んでいくと思っています。

簡単に言えば、これまでの学習や経験から得た「知識」と「スキル」を活用して、自らの判断で動くことができるのです。指示された課題や勉強に素直に取り組むことは、主体性の素地だと思います。そしてそれが皆さんにはすでに身に付いています。だからこそ、様々なことを「まずはやってみる」ことが大切です。高校生活でたくさんのごとに組みましょ。

以下に挙げるのは、すぐに実行できることであり、特に自分から心がけて取り組んでほしいことです。

【特に心がけてほしいこと】

①挨拶の励行

②いじめを許さない

③言葉遣いを丁寧に

挨拶の励行

→ 小さい頃から「挨拶をしましょう」と言われてきたことでしょうか。では、挨拶は何故するのでしょうか。挨拶の意義は何でしょうか。私は大きく2つあると考えています。

◇自分の存在を示すため…自分に気づいてもらい、その後のコミュニケーションを円滑に図れるようにする。挨拶は、話し始めのクッションともなり、その日の相手の様子を伺えるものにもなる。

◇相手に心地よくなってもらうため…意外かもしれませんが、相手を気持ちよくさせられるのが挨拶。「元気で爽やかな挨拶」は、された側にとって心地よく、「この人と関わりたい」とも思わせられる。

いじめを許さない

→ いじめの定義を以下で確認しておこう。（いじめ防止対策推進法より抜粋）

「いじめとは、（中略）一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。」



◇簡単にいえば、その人の心や体が傷ついたり、被害を受けて苦しんだりすれば「いじめ」となりうるのです。苦痛の感じ方は人それぞれ違うので、軽はずみな言動が傷つけるかもしれないと思ひましょ。そして、いじめをえりも高校の全員でしない、させない、許さない雰囲気をもつことが安心した生活につながります。

言葉遣いを丁寧に

→ 周りの人と接するうえで、「言葉」(文字も含め)は必要になります。言葉を介して、お互いの考えや想い、もっと言えば人柄を感じあっています。人に優しく接する・大切に接することは、言葉遣いを優しくする・大切にすることとも言えます。乱暴な言葉遣いをしている人は「性格も乱暴な人なのかな」と思ってしまいます。目上の人に対して敬語や丁寧語で話すのはもちろんのこと、親しい友人に対しても口調が荒くならないようにしてほしいものです。

◇以上3点はすぐにでも心がければ実行・改善できることであり、そして何より皆さんの良好な人間関係の形成を促し、安心・安全で充実した高校生活にさせてくれるものと考えています。

◎そうはいつでも自分だけで解決できない場合は・・・

価値観が多様化し、悩みを抱えることはたくさんあり、悩んでいるのは自分だけではありません。そんな時は誰かに相談しましょう。まずは気軽に先生方に話してみてください。(えりも高校 01466-2-2405)

また、保護者等の方や学校の先生に話しにくい場合は、外部機関を利用することもできます。

◆北海道教育委員会 子ども相談支援センター (0120-3882-56 ※無料・24時間対応)



(写真左→全校集会の礼法練習。ピシッと揃っています。写真右→壮行会の選手宣誓。各主将の堂々たる姿。)

GWを有意義に

今年度は5月3日(水)から7日(日)までの5連休。4月は年度初めということもあり、慣れない環境からの疲れもあると思います。ただ休むだけではなく、有意義かつ計画的に過ごしてほしいと思います。

また、まとまった休みの際の留意点を以下に載せておきます。

①生活について

- 1) 規則正しい生活を心がける(起きる時間を一定にしよう)。
- 2) 携帯電話・スマートフォンは正しく利用する(SNS等でトラブルに巻き込まれてからでは遅いです)。
- 3) 外出時は、「どこへ」「だれと」「なにを」「何時に帰宅するか」を伝える(アルバイト等も計画的に)。
- 4) ダメなことは、「絶対ダメ」と断る勇気を持つ。
- 5) 出かける際は、感染症対策をする。

②学習について

- 1) 家庭学習習慣のきっかけを作る(連休こそ真価が問われます)。
- 2) 読書をする(短時間でも良いので、読書をすることで様々な考え方に触れる)。

③交通安全

- 1) 常に周囲を確認し行動する。
- 2) 歩きスマホは、絶対にしない。
- 3) 車に乗る際は、シートベルトを着用する。

